

ポートタワー、「恋人の聖地」に

震災で部分休業、装い新たに再開

東日本大震災で建物が一部損壊し、部分休業していた千葉ポートタワー（千葉市中央区）が「恋人の聖地」として装いを新たに再開した。閉鎖されていた展望フロアの一部を改装し、縁結びの神をまつる神社などを設置。開業25周年を迎え、近年は集客が低迷していたが、カップル客を取り込む戦略で再起を狙う。

地上105階のフロアの一角を「愛のプロムナード」と銘打って改装し、12日にオープンした。

「天空縁結び神社」のほか、恋人たちが南京錠をかけると幸せになれるという都市伝説にちなんで錠

地上105階に天空縁結び神社

をかけるフェンスを設置した。南京錠は一個1千円で購入できる。

同タワーは震災で免震装置の一部が損傷し、地上部分を除く展望フロアが休業していた。1986年の開業当初は年間60万人前後が訪れる有数の人気スポットだったが、ここ数年は年間16万人ほどに集客が低迷している。同タワーは「復興のシンボルとしても親しんでももらえれば」と言う。NPO法人「地域活性化支援センター」がプロポーズの場所にふさわしい観光地を選ぶ「恋人の聖地」にも認定された。県内では八千代市の京成バラ園などに次ぎ4カ所目となる。